

【表紙】

【提出書類】	公開買付届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年 5月14日
【届出者の氏名又は名称】	株式会社富澤
【届出者の住所又は所在地】	静岡市葵区伝馬町 8番地の 6
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂一丁目12番32号 西村あさひ法律事務所
【電話番号】	03-5562-9274
【事務連絡者氏名】	弁護士 渡邊 純子
【代理人の氏名又は名称】	該当事項はありません
【代理人の住所又は所在地】	同上
【最寄りの連絡場所】	同上
【電話番号】	同上
【事務連絡者氏名】	同上
【縦覧に供する場所】	株式会社富澤 (静岡市葵区伝馬町 8番地の 6) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2番 1号)

(注1) 本書中の「公開買付者」とは、株式会社富澤をいいます。

(注2) 本書中の「対象者」とは、株式会社メガネトップをいいます。

(注3) 本書中の記載において、計数が四捨五入又は切捨てされている場合、合計として記載される数値は計数の総和と必ずしも一致しない場合があります。

(注4) 本書中の「法」とは、金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。）をいいます。

(注5) 本書中の記載において、日数又は日時の記載がある場合は、特段の記載がない限り、日本国における日数又は日時を指すものとします。

1【公開買付届出書の訂正届出書の提出理由】

平成25年4月16日付で提出した公開買付届出書の記載事項の一部に訂正及び追加すべき事項がございますので、法第27条の8第2項の規定に基づき、公開買付届出書の訂正届出書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第1 公開買付要項

3 買付け等の目的

(2) 本公開買付けの実施を決定するに至った背景、理由及び意思決定の過程並びに本公開買付け後の経営方針

4 買付け等の期間、買付け等の価格及び買付予定の株券等の数

(2) 買付け等の価格

第4 公開買付者と対象者との取引等

2 公開買付者と対象者又はその役員との間の合意の有無及び内容

(2) 本公開買付けの実施を決定するに至った背景、理由及び意思決定の過程並びに本公開買付け後の経営方針

第5 対象者の状況

5 その他

3【訂正前の内容及び訂正後の内容】

訂正箇所には下線を付しております。

第 1 【公開買付要項】

3 【買付け等の目的】

(2) 本公開買付けの実施を決定するに至った背景、理由及び意思決定の過程並びに本公開買付け後の経営方針

「訂正前」

(前略)

なお、平成25年2月8日付公表の対象者の平成25年3月期第3四半期決算短信によれば、対象者の平成25年3月期の業績はこれを上回ることが予想されております。

しかしながら、近年、対象者が属する眼鏡業界におきましては、企業間の価格競争による単価低下により、市場規模が縮小傾向にある一方で、消費者マインドの変化に伴い、デザイン性や機能性の高い商品を志向する動きが一段と強まってきており、それに対応した商品開発、店舗展開及び価格戦略の見直しが求められております。加えて、このような環境の変化を捉え、低価格帯の商品を中心に急速にシェアを増加させている競合他社の台頭が見られる状況にあり、更なる競争環境の激化が想定されるなど、将来的に対象者を取り巻く経営環境は厳しくなっていくことが見込まれております。

(後略)

「訂正後」

(前略)

なお、平成25年5月14日付公表の対象者の平成25年3月期決算短信によれば、対象者の平成25年3月期の業績は、売上高677億円、営業利益94億円と平成24年3月期を上回る業績を達成することが出来たとのことです。

しかしながら、近年、対象者が属する眼鏡業界におきましては、企業間の価格競争による単価低下により、市場規模が縮小傾向にある一方で、消費者マインドの変化に伴い、デザイン性や機能性の高い商品を志向する動きが一段と強まってきており、それに対応した商品開発、店舗展開及び価格戦略の見直しが求められております。加えて、このような環境の変化を捉え、低価格帯の商品を中心に急速にシェアを増加させている競合他社の台頭が見られる状況にあり、更なる競争環境の激化が想定されております。なお、平成25年3月期決算短信によれば、平成25年3月期の既存店売上高は前年比マイナスに転じたとのことです。また、対象者が平成25年5月1日に公表したメガネトップグループ平成26年3月期月次売上状況によれば、平成25年4月の既存店月次売上高は、前年比5.6%となっております。加えて、足許の円安の為替動向が継続する場合は、仕入原価が上昇する可能性も否定できないことから、対象者を取り巻く経営環境は更に厳しくなっていくことが見込まれております。

(後略)

4【買付け等の期間、買付け等の価格及び買付予定の株券等の数】

(2) 買付け等の価格

算定の経緯

(本公開買付価格の決定に至る経緯)

「訂正前」

(前略)

なお、平成25年2月8日付公表の対象者の平成25年3月期第3四半期決算短信によれば、対象者の平成25年3月期の業績はこれを上回ることが予想されております。

しかしながら、近年、対象者が属する眼鏡業界におきましては、企業間の価格競争による単価低下により、市場規模が縮小傾向にある一方で、消費者マインドの変化に伴い、デザイン性や機能性の高い商品を志向する動きが一段と強まってきており、それに対応した商品開発、店舗展開及び価格戦略の見直しが求められております。加えて、このような環境の変化を捉え、低価格帯の商品を中心に急速にシェアを増加させている競合他社の台頭が見られる状況にあり、更なる競争環境の激化が想定されるなど、将来的に対象者を取り巻く経営環境は厳しくなっていくことが見込まれております。

(後略)

「訂正後」

(前略)

なお、平成25年5月14日付公表の対象者の平成25年3月期決算短信によれば、対象者の平成25年3月期の業績は、売上高677億円、営業利益94億円と平成24年3月期を上回る業績を達成することが出来たとのことです。

しかしながら、近年、対象者が属する眼鏡業界におきましては、企業間の価格競争による単価低下により、市場規模が縮小傾向にある一方で、消費者マインドの変化に伴い、デザイン性や機能性の高い商品を志向する動きが一段と強まってきており、それに対応した商品開発、店舗展開及び価格戦略の見直しが求められております。加えて、このような環境の変化を捉え、低価格帯の商品を中心に急速にシェアを増加させている競合他社の台頭が見られる状況にあり、更なる競争環境の激化が想定されております。なお、平成25年3月期決算短信によれば、平成25年3月期の既存店売上高は前年比マイナスに転じたとのことです。また、対象者が平成25年5月1日に公表したメガネトップグループ平成26年3月期月次売上状況によれば、平成25年4月の既存店月次売上高は、前年比5.6%となっております。加えて、足許の円安の為替動向が継続する場合は、仕入原価が上昇する可能性も否定できないことから、対象者を取り巻く経営環境は更に厳しくなっていくことが見込まれております。

(後略)

第4 【公開買付者と対象者との取引等】

2 【公開買付者と対象者又はその役員との間の合意の有無及び内容】

(2) 本公開買付けの実施を決定するに至った背景、理由及び意思決定の過程並びに本公開買付け後の経営方針

「訂正前」

(前略)

なお、平成25年2月8日付公表の対象者の平成25年3月期第3四半期決算短信によれば、対象者の平成25年3月期の業績はこれを上回ることが予想されております。

しかしながら、近年、対象者が属する眼鏡業界におきましては、企業間の価格競争による単価低下により、市場規模が縮小傾向にある一方で、消費者マインドの変化に伴い、デザイン性や機能性の高い商品を志向する動きが一段と強まってきており、それに対応した商品開発、店舗展開及び価格戦略の見直しが求められております。加えて、このような環境の変化を捉え、低価格帯の商品を中心に急速にシェアを増加させている競合他社の台頭が見られる状況にあり、更なる競争環境の激化が想定されるなど、将来的に対象者を取り巻く経営環境は厳しくなっていくことが見込まれております。

(後略)

「訂正後」

(前略)

なお、平成25年5月14日付公表の対象者の平成25年3月期決算短信によれば、対象者の平成25年3月期の業績は、売上高677億円、営業利益94億円と平成24年3月期を上回る業績を達成することが出来たとのことです。

しかしながら、近年、対象者が属する眼鏡業界におきましては、企業間の価格競争による単価低下により、市場規模が縮小傾向にある一方で、消費者マインドの変化に伴い、デザイン性や機能性の高い商品を志向する動きが一段と強まってきており、それに対応した商品開発、店舗展開及び価格戦略の見直しが求められております。加えて、このような環境の変化を捉え、低価格帯の商品を中心に急速にシェアを増加させている競合他社の台頭が見られる状況にあり、更なる競争環境の激化が想定されております。なお、平成25年3月期決算短信によれば、平成25年3月期の既存店売上高は前年比マイナスに転じたとのことです。また、対象者が平成25年5月1日に公表したメガネトップグループ平成26年3月期月次売上状況によれば、平成25年4月の既存店月次売上高は、前年比5.6%となっております。加えて、足許の円安の為替動向が継続する場合は、仕入原価が上昇する可能性も否定できないことから、対象者を取り巻く経営環境は更に厳しくなっていくことが見込まれております。

(後略)

第5 【対象者の状況】

5 【その他】

「訂正前」

該当事項はありません。

「訂正後」

対象者は、平成25年5月14日に「平成25年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」を公表しております。当該公表の概要は以下のとおりです。なお、以下の公表内容の概要は、対象者が公表した内容を一部抜粋したものであり、公開買付者はその正確性及び真実性について独自に検証しうる立場になく、また実際にかかる検証を行っておりません。詳細につきましては、当該公表の内容をご参照ください。

損益の状況

決算年月	平成25年3月期
売上高（千円）	67,663,819
売上原価（千円）	21,887,704
販売費及び一般管理費（千円）	36,407,526
営業外収益（千円）	585,997
営業外費用（千円）	360,657
当期純利益（当期純損失）（千円）	5,581,008

1株当たりの状況

決算年月	平成25年3月期
1株当たり当期純損益（円）	123.51
1株当たり配当額（円）	10
1株当たり純資産額（円）	532.05

（注）「1株当たり配当額」については、平成25年6月26日に開催予定の対象者の定時株主総会において決議が予定されている1株当たりの配当額を記載しております。